

# 第62回卒業証書授与式、44名の巣立ち



三珠中学校  
学校便り

# 礎

## ishizue

令和5年3月9日  
文：校長 丹沢伸也



### はなむけの言葉

コロナに翻弄された3年間の学校生活、「一番密な青春時代」に密な時間を過ごせなかったもどかしさが、みなさんにもきっとあったでしょう。パワー溢れる皆さんだからこそ思い切り頑張らせ、その姿を見たかった、そんな思いが先生たちにも家族にもあります。

しかし、それができなくても、学べたこと、身についた力はあります。それは「当たり前の日常のありがたさを忘れず、常に全力で取り組む心の持ち方」、そして「どんな苦境にあっても、工夫しながら前へ進む力」です。

コロナ禍という前例のない時を共に過ごしたみなさんだからこそ生まれた「絆」、そして、身についた「たくましい力」は、この先きっと活かすことと思えます。どうか、そのことを心に留めておいてください。

中学校を卒業し、新しい舞台、立場で生活を始めるみなさんに、蕪崎高校出身のサッカー選手、中田英寿さんの言葉を紹介します。

中田さんは、高校の頃から海外遠征に参加し日本代表にも選ばれましたが、母校で行われた講演の中で生徒から、「好きなことの見つけ方」について聞かれた時、こう答えたそうです。「新しいことに挑戦していくと、自然に見つかっていく、それ以外に近道はない」と。

挑戦することで、自分の能力や適性、可能性が見つかります。チャレンジなくして変化はありません。皆さんも失敗を恐れず多くのことにチャレンジし自己の可能性を広げて下さい。

終わりに、先行きが不透明で混迷した今の時代だからこそ紹介したい言葉があります。第2次大戦の最中、ヒットラーを批判的に描いた映画で主演のチャップリンが行った演説の一節です。

「機械よりも人間が必要だ、賢さよりも思いやり、やさしさが必要だ。

そうした資質なくしては、人生は暴力的になりすべてが失われるだろう」

新しいステージで、自己の未来を開き、やがて将来、よりよき社会の担い手となって活躍することを心から願い、「はなむけの言葉」とします。

令和5年 3月 9日 三珠中学校 校長 丹沢 伸也



3月9日、第62回卒業式が行われ、44名が本校を巣立ちました。授与した証書番号は、三三四四号から三三八七号、歴史ある三珠中学校の卒業生に名前を連ねました。3年間三珠中学校で学んだこと、思い出を新しい生活に活かし、新たなステージで活躍することを心より願っています。



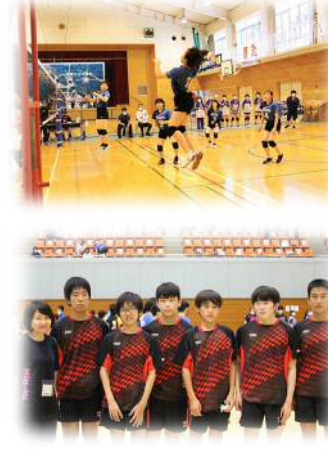
9月 希珠祭



4月 学年開き



10月 修学旅行



部活動